3 指導業務

県内外の木材加工業、住宅関連企業、建築設計事務所等を対象に、各研究部が行った技術相談、指導及び依頼試験の実績は次のとおりである。

3-1 技術相談依頼及び指導

(1) 件数

年 度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	累計
材料開発部	31	83	126	74	38	74	50	27	37	540
木材加工部	62	218	224	189	183	141	133	120	88	1,358
構法開発部	134	229	355	378	353	287	328	276	387	2,727
企画管理課	—	—	40	27	33	48	46	34	40	268
計	227	530	745	668	607	550	557	457	552	4,893 件

(2) 依頼者内訳数

	企 業	行政機関	個人等	計
材料開発部	34	1	2	37
木材加工部	73	9	6	88
構法開発部	301	74	12	387
企画管理課	34	4	2	40
H21 計	442	88	22	552
H20 計	380	63	14	457
H19 計	366	173	18	557
H18 計	392	130	28	550
H17 計	415	185	7	607
H16 計	481	160	27	668
13~21 累計	3,599	1,131	163	4,893 件

(森林組合等団体は企業に、大学等教育機関は行政機関に含む)

※企業（団体を含む）からの相談が約 74 %

(3) 主な試験及び相談・指導内容

平 成 21 年 度	内 容
材料開発部	・スギ材の高温乾燥について・スギ乾燥材の内部割れについて・木材抽出成分の有害性について・ヤニ成分について・シロアリ試験について
木材加工部	・スギーヒノキ異樹種集成材について・スギ材の強度について・スギ圧密フローリングについて・スギ圧密材の製造・加工について・フェニックスの加工・保存処理方法について
構法開発部	・バイオマス燃料について・韓国でのスギ利用について・中国でのスギ用途について ・東アジアへのスギ輸出実績について・スギ木造コンビニ開発について ・非住宅向け木造スパン表について

3-2 依頼試験

(1) 依頼試験実績

(単位：件、円)

年 度	13~14	15	16	17	18	19	20	21	計
依頼件数	266	171	81	50	79	60	115	52	874
手数料	2,965,470	1,833,485	736,450	632,755	679,680	625,460	618,225	636,930	8,728,455

(2) 試験内訳件数

(単位：件)

試験内容／年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	計
短柱圧縮試験	2		1	4	10				2	19
床せん断試験	14	7					6			27
壁せん断試験	14	6	26	1	8	10		3		68
実大振動試験		1		4		9	8		7	29
曲げ試験	39	20	23	14	9		6	7	8	126
引張試験	9		5	3	2	1	1		1	22
長柱圧縮試験		2	4							6
熱伝導率測定試験			1	7		7				15
小試験体強度試験		56	42	14	8	28	14	23	21	206
耐候性試験	22	5	7				8	1	2	45
接着試験	12	11	7	3				5	1	39
含水率試験	6	18	27	5	3	4	5	14	1	83
乾燥試験(蒸気式)			1						4	5
収縮膨張試験		2	2	1				49	5	59
家具耐久性試験		4	4	4				7		19
材質試験(低倍率)			3							3
材質試験(グレディング)			1							1
材質試験(組織観察)			4	1	1	4				10
吸音率測定試験				1	1	4	9	4		19
化学試験(可視紫外線試験)		1			3	4	1			9
動的ヤング係数測定試験	1	3	6	19	1	6	1			37
摩 耗 試 験			2							2
その他の試験					2					2
成績書の副本	6	5	5		2	2	1	2		23
合 計	125	141	171	81	50	79	60	115	52	874

(注) 曲げ試験には、小試験体強度試験を含む。

(3) 県内、県外別の試験内訳件数

(単位：件)

年 度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	計
県 内	109	111	130	40	31	52	34	61	42	610
県 外	16	30	41	41	19	27	26	54	10	264
計	125	141	171	81	50	79	60	115	52	874

3-3 研究会等の開催

3-3-1 スギシンポジウム2009

宮崎県のスギ素材生産量は平成3年から連続して日本一で、わが国有数の国産材供給基地として位置づけられている。特に最近では、地球温暖化防止のためには、一人一人が地球環境を守るという意識を持ち、木材利用の意義や利点を理解し、国産材を積極委的に利用することが重要となっている。

しかし、これまでは、必ずしも木材や木材利用についてのPRが十分に行われてきたとは言えない。そこで、木材利用推進の取り組みについて学校教育、社会教育における「木育」の紹介を行い、今後のあり方について考えることを目的に開催した。

なお、当シンポジウムは日本木材学会九州支部と共催で実施した。

1 テーマ	「スギ（木材）をもっと身近に」
2 開催日	平成21年12月10日（木）
3 場所	ホテルプラザ宮崎 宮崎市川原町1-1
4 参加者	約130人
5 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演 演題 幼稚園から大学生・高齢者まで 暮らしに木を、「木育」で人間・^{いき}活木・^{いき}活木 講師：島根大学教育学部 教授 山下晃功 氏 ・ 特別講演 演題 地域の木に親しむ ースギがスキになる木育ー 講師：KEM工房主宰 木育ファミリー 代表 煙山泰子 氏 演題 「宮崎における木のふれあい活動」の取組 講師：川上木材(株) 代表取締役 元九州木青会連合会会長 川上幸 氏 演題 環境を守るための木づかい 講師：宮崎県木材利用技術センター木材加工部 部長 藤元嘉安
6 現地見学会	平成21年12月11日（金） みやざきアートセンター 平成21年10月に開業した施設で、木工教室を開催できる工作室があり、内装に県産材を使用

3-3-2 木材加工技術意見交換会

木材需要拡大に繋がる研究開発をより推進するため、製材・加工・住宅関連企業や行政などのニーズを的確に把握することを目的として、センターの研究成果の紹介やセンターに対する意見・要望等を聴取する木材加工技術意見交換会を県内2箇所で開催した。

開催日	開催場所	参加団体数	参加者
平成21年10月27日（火）	宮崎県日向総合庁舎	団体： 5 企業： 4 行政： 1	20人
平成21年11月10日（火）	宮崎県西諸県農業改良普及センター	団体： 4 企業： 6 行政： 1	19人

3-3-3 研究成果報告会

試験研究内容や成果を広く関係企業や団体、行政などにPRするため、研究成果報告会を開催した。

開催日	開催場所	参加者
平成21年7月15日(水)	宮崎県木材利用技術センター	約80人

関係部署	テーマ	発表者
材料開発部	地域資源活用促進事業-スギ精油の大量採取とその利用- スギ心持ち柱材の高温乾燥 土木用スギ材の耐久性試験-木材保護塗料の耐候性II- 木質燃焼灰を再利用した石膏複合材の開発	藤本英人 小田久人 岩崎新二 赤木剛
木材加工部	宮崎県内の小・中学校における木製教材の利用状況 スギ構造材柱脚柱頭接合部のまり込みクリーブ(その3)-ほぞの 先端を基礎に到達させた場合の鉛直変位の低減効果- スギ及びヒノキ用いた異樹種構造用集成材の開発 スギ葉枯らし乾燥試験	藤元嘉安 荒武志朗 森田秀樹 松元明弘
構法開発部	スギ集成材を用いた大型構造物の経年変化 スギプレカット製材を用いた低層中規模非住宅木造 かりこぼうず大橋の経年変化 伝統的木造住宅等の接合部性能評価事業の概要	飯村豊 皆内健二 椎葉淳 上杉基

3-3-4 都城地区木材青壮年会との勉強会

都城地区木材青壮年会を中心とする木材関連業界の関係者と木材利用についての勉強会を開催した。

開催日	平成21年7月10日(金)
開催場所	宮崎県木材利用技術センター大会議室
内容 講師	製材業、林業のこれからの可能性「バイオ燃料研究」 宮崎県木材利用技術センター材料開発部長 藤本 英人
参加者	約50名

3-3-5 木工教室開催

親子で木材に親しむとともに、木材の良さを認識してもらうため、木工教室を開催した。

開催日	開催場所	参加者	木工教室内容	備考
平成21年 7月25日(土)	宮崎県木材利用 技術センター	都城市内の小学 校の親子60組	・地球環境と木材利用に ついて(DVD) ・マガジンラックの製作	
平成21年 10月24日(土)	宮崎県木材利用 技術センター	都城市内の小学 校の親子18組	・地球環境と木材利用 について(DVD) ・マガジンラックの製作	

3-4 講師派遣

3-4 講師派遣

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
有馬 孝禮	2009.7.4	くまもとアートポリス「球泉洞休暇村木造バンガロー（モクバン）R2」シンポジウム	モクバンに見る新しい建築物の可能性	くまもとアートポリス事務局
有馬 孝禮	2009.7.21	広島県木材加工技術協議会記念技術研修会講演会	県産材の推進－変遷する国産材の対応－	広島県木材加工技術協会
有馬 孝禮	2009.9.12	平成 21 年度第 2 回スギ乾燥材 80 本贈呈抽選会及び木造住宅セミナー	「なぜ今木材なのか－オビスギ（飢肥スギ）－」	宮崎県山村・木材振興課 宮崎県木材協同組合連合会
有馬 孝禮	2009.10.8	木のフォーラム	「【木づかい】－変遷する付加価値への対応－」	鹿沼商工会議所
有馬 孝禮	2009.11.12	なでしこ会・芝グループ講演会	「エコと木材利用」	なでしこ会・芝グループ
有馬 孝禮	2009.11.20	宮崎県産材販売促進フェア～東国原知事のトップセールス～	「今、なぜオビスギか」	宮崎県宮崎県木材協同組合連合会
有馬 孝禮	2009.12.21	職業能力開発総合大学校東京校建築系第 16 回特別講演会	「なぜ、いま木材・木の建築なのか？」	職業能力開発総合大学校東京校
有馬 孝禮	2010.1.21	地元の木で家づくりセミナー	「なぜ、いま木の建築なのか」	山形県村山総合支庁 村山地域林業振興協議会
有馬 孝禮	2010.2.10	独立法人建築研究所シンポジウム「建築物の長期使用シンポジウム」	「耐久性総プロの成果のレビューと建築物の長期使用の観点からの課題」(3)木造	独立法人建築研究所
有馬 孝禮	2010.2.14	次世代へつなぐ「みどりの街松阪」シンポジウム及び「あかね材」利用促進会議	「なぜ、いま木材・木の建築なのか」	顔の見える松阪の家づくり推進協議会
有馬 孝禮	2010.3.7	いなか未来ネットワーク	「地球環境保全・資源持続性と変貌する価値への対応」	いなか未来ネットワーク
有馬 孝禮	2010.3.14	九州職業能力開発大学校（九州ポリテクカレッジ）公開講座	「いま、なぜ木の建築なのか」	九州職業能力開発大学校（九州ポリテクカレッジ）
有馬 孝禮	2010.3.26	森のめぐみとデザイン展	「森のめぐみと国産材利用」	港区

3-4 講師派遣(つづき)

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
有馬 孝禮	2010.3.27	NPO 木の建築フォーラム集中講義	「なぜ、いま木造建築なのか-木材の視点から-」	NPO 木の建築フォーラム
藤本 英人	2009.12.14	「みやざきスギ」の木の家セミナー in 沖縄	宮崎県産スギ材の耐蟻性能及び防腐加工	山村・木材振興課
小田 久人	2009.9.3	製材等の製造業者の認定に伴う資格者養成研修	スギ構造材の乾燥と強度	宮崎県木材協同組合連合会
小田 久人	2009.11.13	宮崎県産材フェア	スギ構造材の乾燥と強度	ナイス
小田 久人	2010.1.22	児湯地区乾燥材生産協議会	スギ構造材の乾燥と強度	児湯農林振興局
小田 久人	2010.2.16	製材等の製造業者の認定に伴う資格者養成研修	スギ構造材の乾燥と強度	宮崎県木材協同組合連合会
藤元 嘉安	2009.5.15	社会科見学会	木材利用と地球環境	祝吉小学校
藤元 嘉安	2009.7.3	木工体験	木材利用と地球環境保全 ・木材加工方法	祝吉中学校
藤元 嘉安	2009.7.16-17	接着講習会	合板製造・二次加工 木質ボード類の製造	日本木材加工技術協会九州支部
藤元 嘉安	2009.7.25	夏休み木工教室	木材利用と地球環境保全 ・木材加工方法	木材利用技術センター
藤元 嘉安	2009.8.5	「みやざきスギ」セミナー(福岡)	宮崎県産スギの特徴とその利用方法	山村・木材振興課
藤元 嘉安	2009.8.9	H21 年度木材プレゼント抽選会	木材利用と地球環境保全	宮崎県木材組合連合会
藤元 嘉安	2009.8.20	科学不思議体験「観察教室」(H21 科学夢ロマン事業)	木材利用と地球環境保全 ・木材の組織構造と特性	宮崎県科学夢ロマン事業推進委員会
藤元 嘉安	2009.10.16	社会科見学会	木材利用と地球環境保全	都城南小学校
藤元 嘉安	2009.10.24	木工教室	木材利用と地球環境保全 ・木材加工方法	都城東小学校
藤元 嘉安	2009.11.28	日本機械工学会九州支部・宮崎地区シンポジウム「地域に根ざした産学官連携」	宮崎県木材利用技術センターにおける事例と地方公設試の役割	日本機械工学会九州支部宮崎地区

3-5 取材

3-5 取材

氏名	取材日	取材内容	取材名
有馬 孝禮	2009.4.	木のまち・木のいえ推進フォーラム 設立大会	住宅と木材 No.376 4月号
有馬 孝禮	2009.5.	宮崎県木材利用技術センターが研究 成果報告会を開き要旨集を刊行	ウッドミック
有馬 孝禮	2009.5.10	新刊図書紹介	林材新聞
有馬 孝禮	2009.6.12	長期優良住宅時代の木の住まい 次 世代に住み継ぐ”木の家、木の街、 木の暮らし”	Housing Tribune vol.368 No.10
有馬 孝禮	2009.7.25	20年度「研究成果報告会」開く	林材新聞
有馬 孝禮	2009.8.6	杉集成材による大型建築物経年調査 結果は良好	日刊木材新聞
有馬 孝禮	2009.9.1	資源循環の視点が重要	建材マンスリー vol.46 No.528
有馬 孝禮	2009.9.4	木造建築は都市の森林広島県木材加 工技術協	日刊木材新聞
有馬 孝禮	2009.9.9	機械等級区分で杉に優位性	日刊木材新聞
有馬 孝禮	2009.9.9	ヤマワ木材が側面テーパ挽き PR	日刊木材新聞
有馬 孝禮	2009.10.3	宮崎県産材をPR名古屋でセミナー	日刊木材新聞
有馬 孝禮	2009.11.25	宮崎県産材の良さ徹底PR	日刊木材新聞
有馬 孝禮	2010.1.20	杉は日本の資源として重要な位置付 けに	日刊木材新聞
有馬 孝禮	2010.2.17	JAS準用（節 強度）システム確立	木材工業新聞
有馬 孝禮	2010.2.20	低炭素社会の実現へ 広がる松阪三 重での取組着々と	林材新聞

3-6 研修生

3-6 研修生

研修内容	期 日	人数	延人日	研修者所属	担当部
スギを用いた住宅・非住宅の軸組構法の構造設計 東アジアに適した建築システムの設計	4/1 ~ 4/30	1	21	韓国YJL建築士事務所 一舎空区	構法開発部
経済合理的な中小規模スギ軸組構造の研究開発	7/2 ~ 3/31	1	184	大淀開発株式会社	構法開発部
食塩摂取時のシロアリ体内原生動物数の変化	7/17 ~ 8/14	1	20	都城工業高等専門学校 物質工学専攻	材料開発部
木質構造の接合	7/21 ~ 7/27	1	5	都城工業高等専門学校 建築学科	構法開発部
軸組木造と住環境	7/21 ~ 7/27	1	5	都城工業高等専門学校 建築学科	構法開発部
スギ材の材質特性	7/21 ~ 7/27	1	5	都城工業高等専門学校 建築学科	構法開発部
軸組木造と住環境	7/21 ~ 8/3 8/17 ~ 8/21	1	15	都城工業高等専門学校 建築学専攻	構法開発部
食塩バリアー攻撃時のシロアリ体内への高濃度食塩水の取り込み	8/17 ~ 8/21	1	5	都城工業高等専門学校 物質工学科	材料開発部